

平成27年度  
決算認定

# 貯金(基金)残

繰越額も最



## 27年度に行った主な事業（投資的建設事業）

町民武道館整備	4億800万円
障害者福祉施設整備	1300万円
斎場改修	1億1490万円
戦略的園芸拡大支援	842万円
萩野地区耕作放棄地盤整備	2440万円
谷町八ヶ森線道路改良	4417万円
Jアラートシステム整備	3560万円

(万円未満は端数を調整しています。)

新しい町民武道館

## わが町の財政力

区分・年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	説明
財政力指数	0.269%	0.261%	0.251%	高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。
経常収支比率	84.4%	89.0%	88.8%	低いほど独自の政策のために使えるお金が多い。
実質公債費比率	8.6%	10.3%	12.0%	収入に対する負債返済の割合。

## 討論

財源の有効活用で未来を創造

賛成討論

奥山勝吉議員

地方創生交付金等の国の施策事業への取り込みは大事であります。財源を有効に活用し、人口減少社会の中で、本町の未来へ向けた創造と、町民の安心安全のための執行努力は評価します。さらに充実策を求めます。

財政全般については、努力と改善がみられる所は高く評価します。財政の運営においては積立金、基金は行政運営上、大事なものであり特に財政調整基金においては災害復旧などの緊急対応に欠かせないものであります。27年度末現在約9億9千200万

円の残高であり、基金の取り崩し額がゼロという対応への努力を高く評価します。これからも積み増しをするべきであり新しい基金の設置も検討すべきであります。

健全化比率等や将来負担比率等は改善していることが見られ、これからも健全財政を目指していくことを希望するとともにこの結果を評価します。

自主財源比率が低い本町では地方交付税に依存している中、税財政制度の動向を注視しながらの財政運営の努力を評価し賛成討論いたします。

※一般会計に対する反対討論はありませんでした。